

コンサートの冒頭、大阪文化についての考え方を述べる「日本テレマン協会」代表の中野順哉さん(中央)と在大阪・神戸オランダ王国総領事公邸



文化
BUNKA

(吉本晃司)
コンサートの冒頭、大阪文化についての考え方を述べる「日本テレマン協会」代表の中野順哉さん(中央)と在大阪・神戸オランダ王国総領事公邸

関西を拠点とするクラシックの演奏団体「日本テレマン協会」代表の中野順哉さんが、大阪文化をめぐる考察を冊子にまとめ、このほど在大阪・神戸オランダ王国総領事公邸(芦屋市山手町3)で開かれたサロンコンサートで内容を紹介した。

「日本テレマン協会」代表の中野さん

受け手との調和に特徴

外で活動してきた。昨年の創立50年を機に社会活動にも力を入れ、関西文化の発展を目指した提言も始めている。

中野さんは、サロンコンサートの冒頭、大阪文化の特徴について、文化や商品の扱い手側である「発信者」と、買い手側である「受け手」の「アンサンブル力」であると指摘。「観客も一緒に(ステージを)つくろうとする姿勢は、芸術家や職人時間をかけて育てるという面にも現れている。大阪、関西の文化発信には、(発信者に対して積極的に関わろうとする)お節介な客のよさを見直すことが重要ではないか」と意見を述べた。

大阪文化めぐる考察紹介

9千年前♪



どうで、縄文時代早期の9千~8千年前の埋葬人骨は後期旧石器時代(3万5千~1万数千年前)の可能性もあるという。保存状態が良い旧石器時代の人骨としては、沖縄県八重瀬町で全身が分か
れば、国内最古級になる可能性がある。さらに、見つかった人